

令和5年度 大田区立大森第一小学校 自己評価 報告書

令和6年2月28日

○ 本校の概要

◎学校教育目標 常に真実を見つめ、これを大切にして子どもを育てる。・健康で安全な生活ができる子。・思いやりがあり、仲よく助け合う子。・自らよく考え、行動する子
 ◎学校規模 児童数554名 実数転校生18名(各年3学級ずつ) 教員数(長・副を除き正教員教員)23名
 ◎令和5年度、開校149周年(令和6年2月14日)
 ◎令和5年度の開校150周年を迎えるにあたり、新設教科「おたの未来づくり」を視野に入れ、令和5年度は総合的な学習の時間や生活科、社会科、理科等の教科で地域と

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
ブランド1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にふさわしい子どもたちの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とコミュニケーション能力の育成等を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。 4:80%以上の正規教員がChromebookに月に10日以上ログインし活用した。 3:70%以上の正規教員がChromebookに月に10日以上ログインし活用した。 2:60%以上の正規教員がChromebookに月に10日以上ログインし活用した。 1:60%未満であった。	3	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合	評価人数 コメント ○全体的によいと思います。ますますの向上を望みます。 ○堀江様…プラスの評価は白丸(○)でお願いします。 ●教員と保護者との認識の乖離が若干あるように感ずる。指導方法など、保護者へさらに分かりやすくフィードバックすることによって理解促進を図る必要がある。○今後体系的に学べるようにしていくことが大切。○道徳授業のレベルアップを図られ、教員同志の意識疎通もなされていたので評価B以上に該当するものだと思います。○取り組みへの具体策が示されている。	
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	71%(73%)	2	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合		3
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	71%(73%)	2	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合		1
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	3	71%(73%)	2	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合		D
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	71%(73%)	2	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合		D
ブランド2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学び、意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。 4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	4(2)	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合	A 8 B 1 C 4 D 6 3 C 3 D 5 ○キメ細かく対応させていると感ずる。教員の皆様の努力が活かされていると認識している。 ○学習の定着に向けて、方向づけを明らかにしている。 ○メンタルヘルスチェック等を通じてストレス症状のある児童への対応は早め早めに取り組んでいく必要がある。 ○いじめ、不登校対応については、年々取り組む成果は上がってきていると認識しているが、継続してきちんと組織全体の問題として取り組んでいることが大切である。○自他の生命を尊重への配慮が図られている。	
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。 4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	3	94%(95%)	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		1
		学習補助員等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。 4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	4	94%(95%)	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		C
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。 4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	4	94%(95%)	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		D
		市販ワークテスト(国語、社会、算数、理科)の平均点を80%以上にする。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。 4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	3	94%(95%)	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		A
ブランド3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:必要なる事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要なる事案に対しておかた会議を実施した。 2:必要なる事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要なる事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	「児童は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	「児童は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合	A 6 B 3 C 3 D 5 ○メンタルヘルスチェック等を通じてストレス症状のある児童への対応は早め早めに取り組んでいく必要がある。 ○いじめ、不登校対応については、年々取り組む成果は上がってきていると認識しているが、継続してきちんと組織全体の問題として取り組んでいることが大切である。○自他の生命を尊重への配慮が図られている。	
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:必要なる事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要なる事案に対しておかた会議を実施した。 2:必要なる事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要なる事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	「児童は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		3
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:必要なる事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要なる事案に対しておかた会議を実施した。 2:必要なる事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要なる事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	「児童は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		3
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:必要なる事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要なる事案に対しておかた会議を実施した。 2:必要なる事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要なる事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	「児童は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		3
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:必要なる事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要なる事案に対しておかた会議を実施した。 2:必要なる事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要なる事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	「児童は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		3
ブランド4 体力増進の向上と健康の	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。 4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	「児童がスポーツに親しむ心、体力向上を図る指導を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	「児童がスポーツに親しむ心、体力向上を図る指導を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合	A 5 B 3 C 1 D 4 ○家庭にお願いくることと学校で対応すべきことが両立しないと生活習慣等は中々改善できないと思っている。○日常からの生活習慣を身に付ける指導は重要で、日頃の健康づくりに関し「児童が自ら考える」ことを促すことも大切と考えている。○コロナ禍においてなかなか通常通りの生活スタイルに戻らなかったことを鑑み、評価B以上に該当するものと思われる。○規則正しい日常生活を推進することで、人格形成に向けられたものとして評価できる。	
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	75%(81%)	2	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合		3
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	75%(81%)	2	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合		1
		体育の授業では、能力差に合った場を設定し、運動が楽しいと感じられるよう授業の改善を図る。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	75%(81%)	2	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合		D
			4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	75%(81%)	2	「児童は学ぶ意欲と学力が育ち、主体的に学習に取り組む態度が身に付いている」と地域・保護者がアンケートで肯定的な回答をした割合		D
ブランド5 魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:月1回以上行った。 3:学期1回以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	「児童がスポーツに親しむ心、体力向上を図る指導を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	「児童がスポーツに親しむ心、体力向上を図る指導を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合	A 8 B 1 C 4 D 4 ○各教員の皆様の日常のご努力がわかります。今後ともOJTや機会をとらえて、OFFJT等を活用し継続して教員の指導力向上を図ってほしい。○きめ細やかさ、より精度の高い指導力がうかがえます。	
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:月1回以上行った。 3:学期1回以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	91%(93%)	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		1
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:月1回以上行った。 3:学期1回以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	91%(93%)	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		C
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:月1回以上行った。 3:学期1回以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	91%(93%)	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		D
		区、都や国が主催する研究会に積極的に参加し、自らの指導力の向上を目指す。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:月1回以上行った。 3:学期1回以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	2	91%(93%)	4	「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」と地域・保護者のアンケートで肯定的な回答をした割合		D
ブランド6 学校も家庭も地域も連携して子どもを育てる仕組みを作ります。	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4:1月1回以上更新した。 3:学期に2～3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。 4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4	「学校は状況発信に努めている」「学校は教育活動を理解してもらえようという公開を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	「学校は状況発信に努めている」「学校は教育活動を理解してもらえようという公開を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合	A 8 B 1 C 4 D 4 ○ホームページでは、担当者を決め、定期的に更新することで、校内の様子を発信することができている。 ○地域教育連絡協議会においては、来年度の周年に向けての話し合いの内容を校内周年委員会と共有している。それを受けて地域と協働で学校の周年行事を行っている。 ○各学年の学習において外部から講師を招き、児童に指導・前置きをいただいたり、施設見学を実施し150周年と関係する活動を行うことにより、地域と関係が深まることを図る。児童がよい学習ができるようにするために、地域との連携を深めたい。教育活動を推進していく。	
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	4:1月1回以上更新した。 3:学期に2～3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。 4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4	91%(88%)	4	「学校は状況発信に努めている」「学校は教育活動を理解してもらえようという公開を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合		1
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域性を生かした特色ある教育活動を実施する。	4:1月1回以上更新した。 3:学期に2～3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。 4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	3	91%(88%)	4	「学校は状況発信に努めている」「学校は教育活動を理解してもらえようという公開を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合		D
		児童の活躍する姿を保護者や地域の方に見てもらう機会を作ったり、積極的に伝えている。	4:1月1回以上更新した。 3:学期に2～3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。 4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4	91%(88%)	4	「学校は状況発信に努めている」「学校は教育活動を理解してもらえようという公開を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合		D
			4:1月1回以上更新した。 3:学期に2～3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。 4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:学期に2～3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4	91%(88%)	4	「学校は状況発信に努めている」「学校は教育活動を理解してもらえようという公開を行っている」と地域・保護者のアンケートで肯定的に回答をした割合		D

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。